

わーかーびいーNews

第1号

2005年3月

編集: 特定非営利活動法人わーかーびいー事務局

住所: 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599

e-mail: workerbe@msknet.ne.jp

<http://www.msknet.ne.jp/workerbee/index.html>



「春よ来〜い」・・・なんて、早く春が来ないかと待ち遠しい今日この頃です。

特定非営利活動法人 わーかーびいーが設立して早1年が立ちました。4月から本格的に各事業も始動し、至らない点を多々抱えながらもここまで進むことができました。これもひとえに皆様のご支援があってこそとスタッフ一同感謝しております。

本誌「わーかーびいーNews」では、わーかーびいーの活動やさまざまな情報提供を趣旨として発行していきます。今回は第1号ではありますが、1年間の振り返りと題して各事業の紹介とこれまでの活動について皆様にお伝えます。



ごあいさつ

特定非営利活動法人わーかーびいー 理事長 石川秀也

当法人では、札幌市、北広島市、恵庭市、千歳市、江別市、南幌町、長沼町、由仁町を活動の範囲として事業展開を図ってまいりましたが、当法人のサービスをご利用いただいたお客様とご家族の皆様、さらにはご親切なご指導をいただいた関係機関・団体の皆様に心より御礼申し上げます。当法人は設立されて日も浅く、若いスタッフが多い中で、何かと皆様に多大なご迷惑をおかけしたことと存じ、深くお詫び申し上げます。一方では、お客様やご家族から感謝のお言葉をいただいたり、各行政当局からは新たな事業展開についてご助言をいただくなど、今後の活動に大きなお励ましも頂戴しております。微力ではありますが、皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

2004年度 〈わーかーびーでのできごと…〉



かいけつ太郎～ケアサービスステーション



かいけつ太郎が開所して、もうすぐ4年半になろうとしています。お客様のご利用状況にも変化があり、余暇支援的な利用から、個別に計画を立て固定の利用を希望されるお客様が増えたように感じております。また、年齢に応じての目的を持ってサービスを利用されるなどライフスタイル、ライフステージにサービスを取り入れていくという利用に変わりつつあるのではとも感じております。一方で、事業所としまして日々の突発的な出来事になかなかお応えできていない状況にあるのも事実です。「身近な」地域サービスとは？を自問自答する日々です。そうではありますが、今後もかいけつ太郎は地域の中で走り続けていきます！若い力ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。 <滝口>

～こんなことしたよ！チャレンジタイム 2004～



どろんこだぁーい！

春から3回に分けて行われたあぐりチャレンジでは、田植えに初挑戦！泥んこになりながらも楽しく体験ができました。秋にはそのお米を収穫し、ホックホクのおいしいお米を食べました。

そして夏…。お泊りに挑戦！みんなで一緒に作ったバーベキュー、おいしかったね。花火やプール、みんなで思いっきり楽しんだね。

季節が変わり、冬にはスキーやゆきんこでこの季節にしか楽しめないことを思う存分楽しめたかな。今年度最後のチャレンジタイムは2月。ソリ遊びにお菓子まき。アイスクリームづくり楽しかったね。またみんな会おうね。そしてたくさん思い出をつくろうね！来年度もたくさん楽しい企画を考えているのでお楽しみに！！



へーんしん！



デイサービス キャンパス



キャンパスがスタートしてからもうすぐ1年。私たちスタッフの経験も浅く、試行錯誤を繰り返しながら、お客様、ご家族の方と一緒にサービスをつくってきました。一人ひとりのキャンパスの利用の仕方も様々であり、日中デイサービスでは、居宅介護とデイサービスを組み合わせ、お客様のスタイルに合わせた地域での生活を過ごしている方、夕方デイサービスでは、通所先が終わった後、夕方の時間をキャンパスで過ごし、お風呂のスキルアップを目指したり音楽活動を楽しんだりする方と多岐に渡っています。住み慣れた地域で暮らすため、暮らしを豊かにするため、新しい自分を見つけるための選択肢と可能性がまた一つできたと思います。お客様、ご家族の方のニーズに応え4月からはグレードアップします。日中、夕方ともに平日全日開所、平日デイサービスの時間拡大。今後も皆様と一緒に歩んでいきたいと思ひます。キャンパスを宜しくお願いします。 <及川>



相談室 ますとびいー



相談室「ますとびいー」は、わーかーびいー独自事業です。「ますと」は帆柱という意味。「一人ひとりの想い」を支えたい、「地域生活を支えたい」という気持ちが込められています。「びいー」は英語でもうひとつ「be」…ある、いる、存在する、いろいろな可能性が潜められています。

進路のことやケア内容についてなど相談内容はさまざまです。そして相談をお受けする中でこちらもお客様から教えていただきながらの日々です。一人ひとりの想いを大切にできるよう、ケアマネジメントを含めた、生活全般の相談支援ができればと考えています。札幌市内は、公的な相談体制が不十分です。「ますとびいー」も、札幌市から地域療育等支援事業や市町村障害者生活支援事業の受託をめざしています。地域にお住まいの障がいのある方やそのご家族のご相談をお受けいたします。支援費制度についてやケアのこと、さまざまな情報提供など困っていること、知りたいこと、お気軽にご相談ください。

< 田中 >



グループホーム ソレイユ



「自分らしく、街のなかであたりまえの生活をしたい」という願いを持つ人たちと、その思いを支える多くの人たちによって生まれたのがグループホームソレイユです。2004年5月に開所以来、入居されている方が、それぞれの暮らしを営んでいらっしゃいます。

当初は、月曜日から金曜日、開所する形態をとっていましたが、2005年1月からは週末を含めて開所しています。昨年5月から今まで短い間にもいろいろな出来事がありました。楽しいこともありましたし、そうでないこともありました。また生活している上で解決しなければならない問題も現れてきました。問題の解決を通して入居されているお一人おひとりの生活の充実を図ってまいります。

< 小室 >



千歳市障害者支援センター



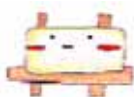
介護者である家族の高齢化・健康状態の悪化などで、現在の生活が続けられなくなる恐れが出て初めてサービス利用を考え、相談に来られる方が多くみられます。まだまだ家族のみで障がいのある方を支えているのが現状です。支援センターでは、日々の相談支援体制が充実されるよう10月に齋藤が新たに相談スタッフとして勤務をしており、3名体制となりました。他にも、千歳市障害者地域生活支援会議を設置したり、当事者活動支援として「本人の会」や「ピアカウンセリング講座」を開催します。また、ホームページで福祉サービスの情報提供を行ったり、授産施設や小規模作業所のネットワークの構築を図っています。これからも、さらにみなさんが気軽に相談に来ていただけるような支援センターにしていきたいと思っています。

< 富樫 >

「24時間いつでも気軽に利用できるサービスをつくろう」と社会福祉法人長沼陽風会において、かいけつ太郎の開設準備を始めてから5年になりました。長沼陽風会から、昨年、特定非営利活動法人として、居宅部門を分離独立させていただき、ゼロからの創造の毎日でしたが、お客様、多くの支援者の方に支えられ、まもなく1年を迎えようとしています。皆様にあらためて感謝申し上げます。

今年は、障害者自立支援法の施行に向け、障がい者の地域生活を支える仕組みが抜本的に大きく変わります。障害者自立支援法案に対しては障がい当事者やご家族の方から不安な声も多く聞かれていますが、私たちスタッフも一丸となって、地域生活支援の具体的な形、システムをつくりあげていきたいと考えています。

わーかーびいーの2年目を取り巻く状況は、決して楽観視はできませんが、「障がいのある人とともに歩むこと」、「地域に徹底的にこだわること」をベースにしなが、今後もあきらめずに、前に向かってすすみます。新年度は、新たに重症心身障がいの方への地域生活支援の展開、日中活動や放課後支援の場の新たな整備、相談支援事業の拡大等をする予定です。入所施設に頼らない障がいのある方の地域支援を支える各種サービスの全面展開に向けて、これからもまい進してまいります。よろしくおねがいします。

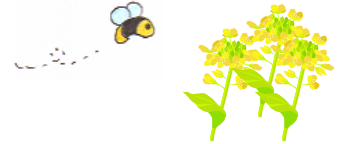


「わーかーびいー学習会を終えいっ」

2月22日、23日、26日と3回に分け、わーかーびいー主催による学習会が行われました。

昨年10月にグランドデザイン案が発表され、本国会において「障害者自立支援法案」についての審議が進められております。しかし、障がい当事者の方やご家族の方には情報が十分届いていない現状があります。そこで、「障害者自立支援法案」について、的確に情報を伝えて、当事者や家族の立場から、これからの障がい者の地域生活支援がどうなっていくのか、意見交換をしながら、学習しました。地域での暮らしを続けるにあたっての不安や疑問を参加された皆様から聞きながら進められました。厚別と千歳で行い、計70名の参加があり、その関心の高さが伺えました。皆様からの声において多かったものに、利用者負担の見直しによって負担が増えることへの不安や現行の移動介護がなくなってしまうのではないかと不安、グループホームが障がいの程度別に再編されていくことへの不安等が挙げられました。実際にはまだ確かなことは決まっていないのが現状です。移動介護については今後、新制度のもとでは市町村ごとの事業として行っていくとともに、行動障がいの方については、新たに「行動援護」というホームヘルプの新類型が4月よりスタートします。そのような中で支援費のはじまりであったガイドヘルプの意味をもう一度見つめ直し、その必要性等を具体的に市町村に訴えて行くことが重要になると考えております。今後も学習会を希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡をお待ちしております。制度に惑わされずに確固たる地域生活の保障を皆様と一緒に考えてまいります。





障害者自立支援法案から（移動支援サービスの見直し）

<見直しの視点>

○ 移動支援については、突発的なニーズへの対応や複数の者の移動の同時支援など柔軟性のある支援を行うため、「地域生活支援事業」としてサービスを提供する。

○ ただし、移動支援と介護を一体的に提供する必要のある一定程度以上の重度障害者については、個別給付でサービスを提供するものとする。（一定時間継続した利用を想定した単価を設定）

※なお、見直し後の下記類型と別に設けるALS等極めて重度の身体障害者、強度行動障害のある極めて重度の知的障害者、極めて重度の精神障害者に複数のサービスを包括的に提供する「重度障害者包括サービス」には、移動支援を含むものとする。

以下の障害者を対象に、個別給付によりサービスを実施

- ・ 身体障害者（視覚、全身性）
- ・ 知的障害者
- ・ 障害児

※精神障害者については、サービスを未実施。

見直し

行動援護

自己判断能力が制限されている者が危険等を回避するための援護（移動の場合も可）

※ 自閉症、てんかん等を有する重度の知的障害者（児）又は統合失調症等を有する重度の精神障害者であって、危険回避ができない、自傷、異食、徘徊等の行動障害に対する援護を必要とする者

重度訪問介護

現行の日常生活支援＋外出時における介護

※ 重度の要介護状態にあつて、かつ、四肢マヒのある身体障害者

移動支援事業

上記以外の移動支援（具体的な支援の範囲は市町村ごとに決定）

※身体障害者、知的障害者、障害児、精神障害者であつて、一定程度以上の障害の状態にある者

障害者介護給付

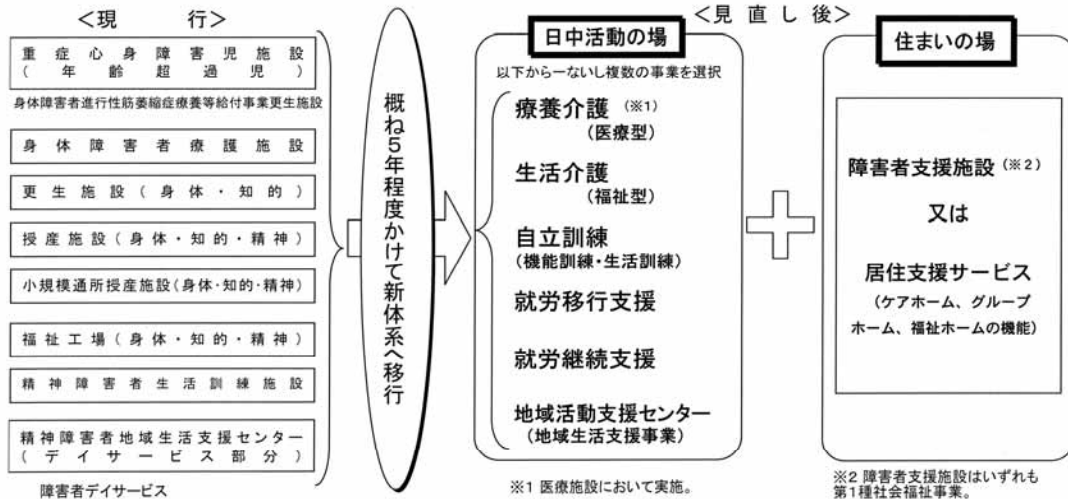
地域生活支援事業

障害者自立支援法案から（施設体系・事業体系の見直し）

<見直しの方針>

○ 「地域生活支援」、「就労支援」といった新たな課題への対応するため、自立訓練や就労移行支援等の地域生活への移行へ資する機能を強化するための事業を実施する。

○ 入所期間の長期化など本来の施設の機能と入所者の実態の乖離を解消するため、サービス体系を機能に着目して再編し、効果的・効率的にサービスが提供できる体系を確立する。






編集後記

残寒の今日この頃、春の気配は未だ遠いと感じる日々です。
今回、無事に第1号を書き終えることができ、ほっと一安心しております。
「1年目の人が書いたのねっ」と優しい採点をいただければ幸いです(笑)。
それはさておき、ぜひご感想や今後の広報誌へのご要望などをお聞かせ下さい。今後への参考にさせていただきます。

今回広報誌の担当をさせていただき、テーマが「振り返り」であった訳ですが、あっという間の一年だったのが正直な感想です。そのあっという間がとても凝縮されており、好きなことをしている自分がいることを実感します。今や、国の動きはハイスピードに進んでいます。そこには戸惑いや不安もあります。そういった中で確かにいえることは、私たちは目の前のことを、障がい児者の方の思いを一番に考えていくのだということです。それが「わーかーびいー」の思いです。

スモール・ステップであってもはじめの一步を続けていきたいと感じます。皆様とともに... 。

< 編集・滝口 >



特定非営利活動法人わーかーびいー

- ・かいけつ太郎～ケアサービスステーション
- ・デイサービス キャンパス
- ・相談室「ますとびいー」

< 所在地 >

〒004-0033 北海道札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号

< お問い合わせ先 >

tel.011-893-1199 fax.011-893-5599

e-mail.workerbe@msknet.ne.jp

<http://www.msknet.ne.jp/workerbee/index.html>

・わーかーびいー千歳分室

< 所在地 >

〒066-0041 北海道千歳市清水町6丁目1番

< お問い合わせ先 >

tel.0123-49-6111 fax.0123-49-6880

e-mail.chitobee@msknet.ne.jp

グループホーム ソレイユ

< 所在地 >

〒061-1431 北海道恵庭市有明町

千歳市障害者総合支援センター

< 所在地 >

〒066-0042 北海道千歳市東雲町2丁目 総合福祉センター1階

< お問い合わせ先 >

tel.0123-27-2210 fax.0123-27-0050

e-mail.soudan24@agate.plala.or.jp

<http://www.msknet.ne.jp/chitoseshien/>